

# 火を使用中にスプレー缶を使用すると大変危険です！

生活の様々な場面で使用している「スプレー缶(エアゾール缶)」。  
実は、多くのスプレー缶には、**可燃性ガス**が含まれています。  
容器に「**火気と高温に注意**」と表示されている場合、火の近くでの  
取り扱いに十分注意しましょう。

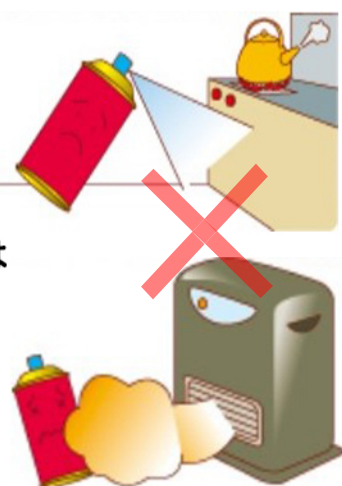
## こんな出火事例がありました

- ◆調理場のカウンターの裏側に殺虫スプレーを噴射したら、都市ガスコンロの火で出火
  - ◆カセットコンロのガスボンベの取り付けが不完全だったため、ガスが漏れて出火
  - ◆調理中に台所のシンクで制汗スプレーのガス抜きをしたら、コンロの火で出火
- その他、ガス抜き中に、たばこやファンヒーターにより出火した例もあります。

## スプレー缶などを使用するときは、どんなことに注意すればいいの？

- ◆火気を使用している室内で、大量に使用しない。
- ◆ストーブやコンロ、湯沸器など、火気の付近で使用したり、放置しない。
- ◆閉め切った狭い場所で一時的に大量に使用する場合は、必ず換気する。
- ◆カセットコンロやトーチバーナーにカセットガスボンベを取り付けるときは  
ガスが漏れないように取扱説明書に記載のとおり確実に取り付ける。
- ◆捨てるときのガス抜きは十分注意する。

(出典：一般社団法人日本エアゾール協会HP)



## ガス抜きするときの注意点は？

- ◆中身を完全に使い切ってから、火気のない風通しの良い屋外で行いましょう。  
⇒ 中身が残っていると、可燃性ガスが多量に出て危険です。
- ◆屋内で行うと、残っているガスが部屋にたまることがあるので危険です。  
⇒ 特にキッチン等の**火気がある場所でのガス抜きは引火のおそれがあり、大変危険です！**

### 【参考】シンクでのガス抜きについて

エアゾール製品に含まれている可燃性ガスは、空気より重い  
ためシンク内にたまり、火気の多いキッチンや屋内  
では思わぬ火種により引火する危険があります。

右の写真はシンク内にガス(LPG)が  
滞留する様子をドライアイスで再現  
したイメージです。



生活の様々な場面で活躍するスプレー缶、  
安全に使用するために詳しくはこちらを



一般社団法人  
日本エアゾール協会HP

(出典：一般社団法人日本エアゾール協会HP)